

令和5年度 独立行政法人福祉医療機構 契約監視委員会 議事概要

○日時等 令和5年6月20日(火)【14:55～16:15】

於：機構1F会議室

○出席者 委員：中村 洋 委員（慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授）
原木 詩人 委員（弁護士）
近藤 浩明 委員（公認会計士）
吉野 裕 委員（当機構監事）
大橋 裕子 委員（当機構監事）

【議事内容】

審議事項

- (1) 契約点検結果【新たな競争性のない随意契約】（令和4年4月～令和5年3月）
- (2) 契約点検結果【2ヶ年連続一者応札・一者応募】（令和4年4月～令和5年3月）
- (3) 令和4年度調達等合理化計画にかかる取り組み状況
令和5年度調達等合理化計画(案)

【審議結果】

審議事項について審議のうえ、了承された。

【主な意見・質問及び回答】

(1) 「新たな競争性のない随意契約」について

(主な意見等)

- ・基幹業務の一つが随意契約となってしまうことについては、今後、このような事態にならないために、公告時期の検討など、やり方を見直す必要があるのではないか。
- ・随意契約に至った経緯（競争入札にできない理由）を、もう少しわかりやすく記載すべきではないか。

(回答)

- ・公告時期を早めることは困難だが、更に新規の業者開拓に努めたい。
- ・わかりやすい説明に努めてまいりたい。

(2) 「2ヶ年連続一者応札・一者応募」について

(主な意見等)

- ・月刊誌「WAM」の企画・編集に関しては、幅広く周知活動を行ったとのことだが、一者応札となった要因を検討し、より候補先の拡大に努めていただきたい。

(回答)

- ・福祉・医療・介護関連の編集・出版のノウハウのある事業者等への参加を促せるよう、引き続き、広く情報提供を行っていきたい。

(3) 「令和4年度調達等合理化計画にかかる取り組み状況」及び「令和5年度調達等合理化計画(案)」について

(主な意見等)

- ・一者応札が増えている傾向から、仕様にあっては応札しやすいような工夫が必要と思われる。
- ・入札業務に関連した不祥事の発生を未然に防止するために行っている取り組みに関して、情報収集及び検証が必要である等の助言があった。

(回答)

- ・仕様のあり方については、調達を求める現場と調整を図り、可能な限り工夫を重ねてまいりたい。

以上